

ヒント集

1. 地域・自治会を知ってもらうためのヒント

- **学区内の地域団体の活動と役割をまとめ、パンフレットにして全戸配付しています**

自治会の活動内容や自治会に加入するメリット、地域の紹介、ごみ出しルールなどを記載したパンフレットを作成し、未加入世帯を含めて全戸に配付し、自治会の活動への理解を深めていただいた例があります。

- **各種団体、地域の会計を全戸に回覧して報告をしています**

各種団体の会計報告を取りまとめたものを町内会で回覧し、集めた町費がどのように使われたのか、会計をガラス張りにして地域の信頼を得た例があります。

- **学区にまつわる話を整理して、地域に伝えています**

若年層や子育て世代、新たに転居してきた人に地域に愛着をもってもらうために、学区の歴史や魅力をまとめた冊子を作成している例があります。

- **自治連合会のホームページを作っています**

自治連合会が「役員名簿」「イベント情報」「広報誌」「学区の概要」「学区の歴史」などを掲載するホームページを開設している例があります。

- **区役所ホームページで学区のイベントを掲載しています**

各学区の各種団体が、それぞれの主催事業の情報をとりまとめて FAX など区総務課へ届け、区役所のホームページに情報を掲載している例があります。

-
- **自分たちのまちの目指す姿をみんなで考え、冊子にまとめています**
暮らし方・地域活動など、自分たちのまちのことを自分たちで考え、それを共有するために、冊子を作成し配付している例があります。

-
- **各種団体の活動報告会を行いました**
地域課題を住民が連携して解決することを目的に、学区社協や民生委員、社寺仏閣や小学校など 14 の各種団体が、活動内容や行事予定、目標や課題などを報告しあう活動報告会を実施した例があります。団体に所属していない住民も参加し、活動への理解や協力を得られました。

2. 次の世代に参加してもらうための取組のヒント

- **地域活動に役立つ講座に若い人を参加させています**
生涯学習コーディネーター養成講座に、自治会役員や PTA の若い人に参加してもらい、技能を学習する機会を設けている例があります。

-
- **若い人に役割を与えています**
上記で、講座で技能を学んでもらった後、地域活動の担い手として活躍の場を用意しました（安心・安全ネットワーク形成事業に関するワークショップの企画・運営）。

-
- **若い人がやりがいを感じる企画をまかせています**
地域での子ども育成の企画を PTA などの若手に任せ、若手にやりがいを感じてもらい、継続して学区行事に関れるようなきっかけをつくっている例があります。

-
- **次のリーダーを担う“若者組”をつくっています**

地域の青壮年が集まって、半分は遊び、半分は祭りなど地域活動を支える会をつくっている例があります。

● **地域の役に立つような専門性をもった人に参加してもらっています**

学校教員や消防職員の退職者など、地域の活動にも関わりの深い分野の仕事をしていた学区在住者に、知識を生かして、活動に参加してもらっています。

● **会社を退職した人に地域活動に参加してもらっています**

会社を退職した人を地域活動に取り込むため、仕事・人生の達人を意味する「熟達人の会」を結成。会では、仕事の経験を活かしながら、落ち葉で堆肥をつくるためのピットづくりに協力するなどの活動が行われています。

3. 地域の若者に地域活動に参加してもらおう

● **学生に町内会役員に就任してもらいました**

年配の方々ばかりが集まる町内会の会合に参加してきた修士課程の若者を、投票で町内会の副会長に選出し、地域の活性化を実践している例があります。

● **ワンルームマンション住民の方向けに町内会準会員という枠をつくっています**

日常的な町内会活動への参加が難しいワンルームマンション住民の方向けに、総会の議決権がない代わりに役割を分担しない「準会員」という枠をつくっている例があります。

4. 地域イベントへの参加者を増やす工夫

- **いろいろな世代が参加できる企画をつくっています**

夏祭りにおいて、世代の融合をテーマに、子どもがカレーを作って高齢者にふるまう企画、子どもも大人も楽しめる石ころアートイベントなどの新しい企画に取り組んだ例があります。

- **大学と連携してイベントづくりをしています**

学区の体育祭に大学生が参加することで、若やいだ雰囲気づくりに成功した例があります。

- **学生グループと協力して地域イベントを企画しています**

地域イベントを、学生を中心に構成する実行委員会が、社会人の支援を受けながら運営している例があります。

- **いろいろなイベントを開催しています**

運動会だけだった地域イベントに加えて、各種サークルの活動発表、フリーマーケット、オークション、今昔の写真の展示などを行うフェスタを開催している例があります。

5. 活発な住民の交流を促すには

- **サークル活動を他学区からの参加も OK にしています**

学区で音楽フェスティバルを始めると同時にコーラスサークルも結成し、近隣学区からも参加可能とすることで多くのメンバーが集まるとともに、いろいろな刺激を受け活性化している例があります。

- **スポーツや趣味などのサークル活動を活発に行っています**

スポーツや趣味など約10のサークルがほぼ毎週、元幼稚園やアートセンターを会場に、多くの地域住民の参加のもと活動されている例があります。

● **男性向け料理教室を開催しました**

地域組織の主催で、男性向けの料理教室（作った料理を肴としての飲み会つき）を企画し呼びかけることで、普段地域とのかかわりが少ない男性陣を巻き込んでいる例があります。

● **みんなで使える広報板を製作しました**

住民が集まり、デザインや設置業者、維持管理の方法などを話し合いで決め、費用もバザーなどにより調達して、地域の情報を掲示できる広報板を制作した例があります。

6. 子どもを核にして活動が広がる

● **学校が企画したお祭りに地域が協力しています**

生徒が育てるあじさいをキーワードとして、1ヶ月間にわたるお祭りを開催。商店街へのあじさいの貸し出しや、学校を開放して、あじさいのライトアップや地域の方による琴の演奏会などが行われている例があります。

● **学校の子どもの就業体験を地域で受け入れています**

地域の企業・事業所が、「地域の子どもは地域で育てる」との思いから、週1回、学校の障害のある子どもたちの仕事体験を受け入れています。

● **PTA や学校運営協議会に声をかけ、親子向けの地域イベントに共催で取り組み、学校を窓口にして参加を呼びかけています。**

小学校の児童と保護者を対象に、地域の個性である染め体験イベントを行い、マンションのエントランスや小学校などにかけるのれんを作成している例があります。

● **新たにこどもみこしをつくりました**

少年補導委員が中心となって、神社からも資金の協力を得てみこしやはっぴを作成し、新たにこどもみこしを始め、学区を越えて参加者が広がりつつある例があります。

● **学校との協力で母親に対する授業などを行っています**

週に1日、子どもたちと同じ時間割で、地域のお年寄りや母親が登校し、学校外の講師を招いた授業や生徒たちとの合同授業を行っている例があります。

● **学校との連携で地域の高齢者等との交流事業を行っています**

地域の小学校、中学校、高校と連携し、会食会や家庭訪問、学区まつりなど様々な機会を通じて、地域の高齢者等とのふれあい事業に取り組んでいる例があります。

7. マンション住民と交流するには

● **地域とマンションの情報交換会を実施しています**

地域とマンションの交流・連携の活性化を図ることを目的として、関係者同士が学区を越え、直接情報交換できる場として、区役所がきっかけとなり情報交換会を実施している例があります。

● **地域の小学校を窓口にして、新しく越してきた住民が参加しやすい、参加したくなるイベントを開催しています**

小学校の児童と保護者を対象に、地域の個性である染め体験イベントを行い、マンションのエントランスや小学校などにかけるのれんを作成している例があります。

● **学区単位で地蔵盆を開催しています**

町内会に参加していないマンション居住の子どもたちも参加できるよう、学区自治連合会の主催により学区自治会館で地蔵盆を開催しています。

● **ワンルームマンション住民に町内会に入ってもらうためにルールをつくっています**

地域で話し合っ、ワンルームの住民も町内会に入ってもらおうというルールをつくり、ワンルーム業者や大家さんに働きかけている事例があります。無理に加入してもらうだけでなく、交流会などを行なうことで町内会のよさを伝える努力をしています。

● **マンション住民等の町内会未加入者も参加できる交流会を開催しています**

マンション住民等の町内会未加入者にまちに関心を持ってもらい、町内会加入のきっかけとなるよう、全戸に呼びかけて、餅つきやまち歩き風景の紹介などをする住まい交流会を開催している例があります。

● **転入世帯に地域のことなどを説明する交流会を開催しています**

毎年、地域に転入してきた世帯に声をかけて、地域のことや地域活動のこと（子どもを対象とした活動や高齢者のイベントなど）を説明し、転入者と意見交換をする交流会を開催している例があります。

● **いろいろなつながりから地域行事への参加を呼び掛けています**

子どもの学校つながりや個人的知り合い関係も駆使して、お祭りなどの地域行事への参加を呼びかけ、お手伝いをお願いしている例があります。

● **マンション内で自治会をつくって交流事業等に取り組んでいます**

管理会社が作成した管理規則を改正して自治会規則を組み入れ、マンション内で自治会をつくってマンション全体で祭りや餅つき大会などの行事や新聞の発行などに取り組んでいる例があります。

⇒マンション内部でも、マンションと地域でも、交流のきっかけを作りやすいテーマは「防災」「子育て」「ペット」「高齢化」

8. 地域課題に取り組みやすい、みんなが参加しやすい組織にかえていく

● **新しい課題に対応するためにまちづくり委員会をつくりました**

地域の課題を解決するために、課題に関心がある人を、住民だけでなく、いろいろな人を集めて委員会を結成している例があります。

● **やる気のある人が参加しやすいよう規約を改正しました**

地域の住民同士が助け合い、支えあうネットワークをつくり各種団体の役員が運営していましたが、意欲のある人も役員になれるよう、規約を改正した例があります。

● **地域内にある企業と協力して課題に取り組んでいます**

2つの学区と5つの企業が参加する組織をつくり、放置自転車の整理・啓発、周辺美化活動について、住民・企業・行政が協力して取り組んだ例があります。

- **リーダーがかわったことをきっかけに、活動が活発化しました**
組織の中で、リーダーがかわったことをきっかけに、沈滞していた活動が活発化した例があります

9. 地域の諸団体が力を合わせる機会をつくる

- **みんなで落書きを一斉清掃しました**
学区を越えて、PTA、生徒会、自治会、女性会、消防団、警察署、鉄道会社、商店街等、多彩な参加者で実行委員会をつくり、地域の落書き消し作業に取り組んだ例があります。地域みんなが関心のある課題を解決できたこととあわせて、地域の諸団体が協力する契機にもなっています
-
- **みんなでまちの美化に取り組みました**
保健協議会と町内会、行政の協力により、不法投棄を一斉撤去してベンチやプランターを設置し、また、地元小学校やNPOとも協力して、まちの美化を呼び掛ける大凧をつくり、凧揚げ会を行った例があります。

10. 地域のみんが関心を持つ課題が地域活動のきっかけに

- **公園の使い方をめぐって発生した問題を地域で話し合うことで地域の交流が深まりました**

若者がスケートボードで公園を占有するという地域の問題を、市スケートボード協会と自治連合会長・町内会が話し合い、「使用禁止」という方向でなく、スケートボード専用施設を地域の公園内に開設し、ルールを決めて円滑に運営されている例があります。

-
- **スケートボード教室を通じて若者との交流を深めています**

若者が市スケートボード協会有志メンバーの協力を得て地元子供達向け無料ボード教室を開催することで、地域と若者の交流を深めています。

11. 地域コミュニティの良さ、役割を身近に感じる活動に取り組む

- **近所同士の声掛け運動を行っています。**

まちの安心・安全の力を再生するために、近所づきあいを見直し、近所同士で声を掛け合う「小さなおせっかい運動」を行っている例があります。

-
- **地域を良くするためにルールをつくりました**

落ち着いたまちの雰囲気を守るために、建築協定、地区計画、江戸時代の自治管理体制の要となった町の法律「町式目」に習ったまちづくりの基本方針「町式目（平成版）」等のルールをつくっている例があります。

12. 市のセンターや市民グループの力を借りる

- **区社協が声をかけることで、多くの団体の協働が実現しました**

区社協が、自治連合会、消防団、自主防災会、障害者連合会、区役所と協働で「防災ワークショップ」を実施。町内の防災啓発に役立つとともに、学区防災訓練において、実地訓練に活かすことができた例があります。

- **市の事業である公園整備をきっかけに、地域のみんなで話し合う参加の場をつくりました**

利用者が減少したちびっこ広場をニーズに合ったものとするために、14ヶ所の広場で近隣住民による改修計画ワークショップと改修が行われました。住民が計画作りや公園の整備作業に参加することで広場に対する愛着が生まれ、管理運営体制が強化されました。

- **青少年活動センターを通して若者にイベントを手伝ってもらいました**

青少年活動センターの「地域イベントボランティア」に登録している青少年に依頼し、イベント（学区のまつりや、商店街の夏祭り、清掃活動など）で、ブース出展などを手伝ってもらっている例があります。

- **青少年活動センターのイベントに地域も積極的に関わり、子どもや保護者が参加しやすい場をつくりました**

青少年活動センターが主体となり、学校、地域、企業が協力して、子どもたちが一つのまちをつくり上げることを遊びを通して体験する「こどもがつくるまち」のプログラムを実施している例があります。

- **地域イベントの開催に市民組織(NPO)の力を借りています①**

自然観察会や生ゴミ堆肥づくり、歴史探訪など、地域のタカラを地域の人に伝えるための地域イベントに、環境問題や自然観察、歴史に詳しい市民組織（NPO）の力を借りている例があります

● **地域イベントの開催に市民組織(NPO)の力を借りています②**

自治連会長が、地域内に事務所のある NPO の協力を得て、学校を使い子供たちに、土器を焚き火でつくる野焼き体験をさせたりしている例があります。

13. 大学と協力する・大学生の力を借りる

● **大学生との協力により行灯イベントを開催しました**

地域住民や小中学校、老人福祉施設などと芸術大学が連携し、行灯を制作して町並みを灯す祭りを開催することで、地域への愛着や世代を超えた交流を生んでいる例があります。

● **地域にある芸術大学に地域の歌を編曲してもらいました**

地域が市に編入された際につくられた音頭を、地域にある芸術大学の協力を得て編曲し直し、旧来からの住民と新しい住民とのコミュニケーションを図るツールとして活用する例があります（平成22年度の夏祭りで発表予定）。

● **地域の大学にある大学と災害発生時の協力体制を取り決めました**

地域組織と地域にある大学が、災害が起きた時に協力することを取り決め、また、多数の大学生も参加する地域の大規模な清掃活動や、地域の諸問題についての協議・情報交換等を行っている例があります。

● **休耕田を使った町おこしに大学生にも参加してもらいました**

休耕田を活用した地域住民による活性化の取組に大学生が参加し、共同作業を通じて自然や食文化など地域を知ってもらい、また、相互の交流も深まっている例があります。

14. 学区を越えて交流する・学びあう

- **災害マップづくりのノウハウを他の学区にも伝えました**

災害時に備えた地域マップづくりのノウハウを伝えるために開催された他の学区の事業に参加し、ノウハウを学んだとともに、参加した他の学区とも交流し、お互いにマップのコンセプトを多様な視点で見直すことができた例があります。

- **7学区が連携して子ども見守り隊をつくりました**

広い校区を持ち子どもの通学路の安全確保が課題であった統合校で、7つの元学区すべての話し合いにより「こども見守りたい」が誕生。その後、各学区の夏祭りには互いに顔を出し合い、年に1回会合も開催されている例があります。